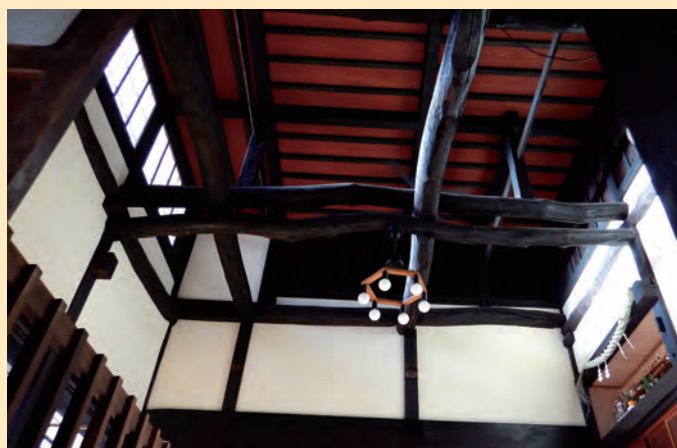



第29回(令和4年度) 千葉県建築文化賞 表彰作品集



主催：  千葉県

共催：  一般社団法人 千葉県建築士会

千葉県建築文化賞について



千葉県知事 熊谷 俊人

令和4年度の千葉県建築文化賞に多くの皆様から御応募をいただき、誠にありがとうございました。

千葉県建築文化賞は、建築文化や居住環境に対する県民の意識の高揚と、うるおいとやすらぎに満ちた快適なまちづくりを推進することを目的に平成6年度に創設されました。

第29回となる今年度は、50点もの御応募をいただきました。その結果、千葉県建築文化賞検討会議による検討内容を踏まえ、最優秀賞2点、優秀賞3点及び入賞4点の合計9点を選定したところです。

受賞作品は、新築の建物から既存ストックを有効活用したもので多岐にわたっており、周辺環境との調和や地域とのつながりを生むもの、歴史的まちなみや伝統工法を継承するもの、人々の暮らしに寄り添ったものなど、いずれも千葉の魅力を高め、地域の活性化に貢献する素晴らしい作品ばかりです。これらの建築物が、地域社会の中で親しまれ、本県の建築文化の向上と、より良いまちづくりの推進に寄与していくことを心から期待しています。

今後とも県では、社会環境の変化等に対応し、県民の命とくらしを守るとともに、恵まれた自然環境や優れた都市機能を持つ千葉で、全ての県民が生きる価値、働く価値を感じられる「千葉の未来」を創造していくため、全力で取り組んでまいりますので、引き続き御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、受賞者並びに御応募いただいた皆様のますますの御活躍をお祈り申し上げまして、あいさついたします。

令和5年3月

目 次

千葉県建築文化賞について	1	三菱銀行佐原支店旧本館	8
第29回千葉県建築文化賞選考経過と総評	2	丸山郵便局	8
エルピザの里	3	市原ゴルフクラブ市原コースクラブハウス	9
香取の引き継がれた家	4	谷津の音楽小屋 Atelier Musica	9
のだのこども園	5	選考の基準	10
HOUSE F	6	第29回千葉県建築文化賞検討会議	10
金柑の実る住まい	7	千葉県建築文化賞の実績(応募総数・受賞作品数)一覧	10
		受賞作品の位置	

第29回千葉県建築文化賞選考経過と総評

応募50点から9点を表彰



千葉県建築文化賞検討会議委員長 北原 理雄

(選考経過)

第29回千葉県建築文化賞は令和4年5月の検討会議で募集要領を定め、7月上旬から9月下旬まで応募を受け付け、総数50点の応募をいただいた。(部門別内訳は下表のとおり。)

一次選考はすべての応募用紙を一堂に展示し、その記載と写真をもとに投票を行い、一般建築物6点、住宅6点を選んだ。次いで11月の3日間をかけ、現地を訪問し、建築物の説明を伺いながら詳細に調査した。二次選考は12月開催の検討会議で、現地調査の報告を踏まえて再度投票を行い、討議を重ねながら優秀な建築物を選んだ。

なお、今回も選考の公明性を保つため、委員と関係のある建築物が応募している場合は、そのことを確認したうえで、当該委員は討議に参加せず、票を投じないこととした。

その結果、最優秀賞2点、優秀賞3点、入賞4点を表彰候補作品として決定した。

今回も新型コロナウイルスの影響を受けたが、検討会議や現地調査の時期が感染者増加のピークとずれたため、スケジュールどおりに募集・調査・選考を進めることができた。さまざまな規制・制限のなか、力作に応募・推薦して下さった皆さまの熱意に深く感謝します。

今年度の検討会議も座席の間隔を広くとり、オンライン参加も導入して、入念な感染防止策を講じての開催となった。困難な準備に奔走していただいた事務局にも心から感謝します。

募集部門	選考経過	応募総数	現地調査 (第1次選考)	受賞作品選定(第2次選考)		
				最優秀賞	優秀賞	入賞
一般建築物		25	6	1	1	3
住宅		25	6	1	2	1
合計		50	12	2	3	4

(総評)

一般建築物の部

一般建築物の部への応募は25点であった。各用途に興味深い作品が見られ、受賞にいたらなかった作品にも質の高いものが多かった。

最優秀賞の「エルピザの里」は、知的障害者の生活施設である。交流ホールと5棟の生活ユニットが中庭を囲む構成をとり、これによって入居者が特性に合わせて居場所を選べる生活の場をつくり、同時にホールを介して地域と積極的につながる運営を可能にしている。木造(一部RC造)でぬくもりのあるヒューマンスケールの空間、また既存施設のある敷地でユニットを活用しながら建て替えを進めた建設計画と併せて高く評価された。

優秀賞の「のだのこども園」は、既存の幼稚園に隣接したこども園である。大きな樹木のある敷地を活かし、木架構の建物が外廊下を介して園庭とつながる細長いプランをとっている。部屋と園庭を自由に行き来し、土の上を駆けまわるこどもたちの笑顔が印象的であった。

入賞の「三菱銀行佐原支店旧本館」は、1914年に建設され、2011年の東日本大震災で被害を受けた県指定有形文化財の建物を、意匠や材料を保存しつつ耐震補強したものである。歴史的町並みのシンボルを復元再生した意義は大きい。「丸山郵便局」は、「+(ぶらす)エコ郵便局」の全国第1号店舗として建設された木造郵便局である。外壁の黒い杉板は、地元の親子約60人と周辺郵便局長が協力して製作した焼杉であり、この施設の意図をよく表している。「市原ゴルフクラブ市原コースクラブハウス」は、山上に建つクラブハウスの建て替えである。優美な曲線を描く大屋根が、かつての稜線を想起させつつ風景に溶け込んでいる。

住宅の部

住宅の部への応募は一般建築物の部と同数の25点であり、こちらも質の高い作品が多く、難しい選考であった。

最優秀賞の「香取の引き継がれた家」は、台風被害で屋根を損傷した築100年以上の古民家を修繕・改築したものである。スス窓風の採光窓を設け、土間につながる表玄関を大きく開放し、薄暗かった屋内を明るく気持ちよい空間にするとともに、風の通り道をつくって快適性を高めている。建物に対する施主の愛着と大工棟梁の技がみごとに結実した作品である。

優秀賞の「HOUSE F」は、新しい住宅市街地の一角に建つ併用住宅である。事務所とカフェを兼ねる1階は通りに面して大きな開口部とウッドデッキを設け、街とのつながりが生まれる場所を目指している。さらに、各階のテラスへの植栽と階段状の吹き抜けが、このつながりを視覚的に強めている。

「金柑の実る住まい」は、駅に近く人通りの多い道路に面して建つ専用住宅である。中心にライトコート置いてプライバシーを確保しており、この空間に向かって開いた2階は明るく開放的な生活の場となっている。1階正面の格子戸を開け放つと、ライトコートを通じて街との緩やかなつながりが生まれる。

入賞の「谷津の音楽小屋 Atelier Musica」は、主屋敷地の一角に建つ楽器演奏のための小建築である。響きの残る空間をという施主の希望に応じて、全体が木製楽器のような作品となっている。